

### 表現する力の育成をめざして

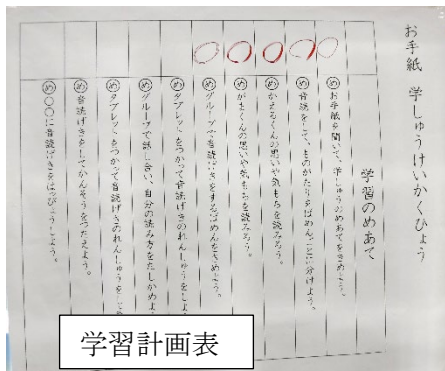
「読む・書く・話す・聞く」活動の一層の習慣化を図り、「読むこと」「書くこと」の量を増やすこと、主体的に学習に取り組めるような魅力的なゴールを設定し、見通し・まとめ・振り返りの一連の流れを大切に学習することで「表現する力」をつけていきたいと考え、授業改善に取り組んでいます。

### ☆2年国語科『そうぞうしたことを音読げきではっぴょうしよう』

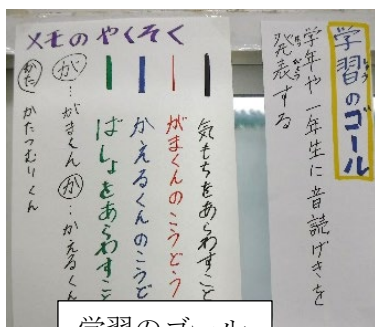
国語科『お手紙』の学習で場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、音読劇に取り組んでいます。1年生に音読劇を発表する計画をしている2年生。これまでの学習で登場人物の行動と様子を詳しく読み、気持ちを想像してきました。グループごとに読み方や動きを工夫し、音読劇をタブレットで録画しました。グループごとに自分たちの音読劇を客観的に振り返り、よくなるように話し合い、さらに練習をしました。

【見通し】1年生へ音読劇を発表するというゴール設定について話し合って決め、そのための学習計画をみんなで確認して進めていきます。音読劇にするために、場面ごとに読み深めていきます。

【まとめ】場面ごとの読み取りをワークシートに書き込みまとめていきます。



学習計画表



学習のゴール



ここは、もうちょっと悲しそうに言った方がいいな。

読み方の工夫を書き込んだワークシートをもとに音読劇の練習をします。動きも、グループで相談して決めます。

タブレットで録画することで、自分たちの音読劇を客観的に見ることができます。また他のグループの音読劇をそれぞれのタブレットや黒板のスクリーンで見ることができ全体で交流できます。お互いの良さや表現の工夫について共有しました。

【振り返り】音読劇をさらによくするためにどうしていくとよいのか、自分自身の学習について振り返り次時につなげます。



1年生に音読劇を見ってもらう前に、学年で交流して、磨きをかけます。

このように各学年、様々な場面でタブレットなどのICTを活用し、主体的に学習に取り組めるような工夫を始めています。また次号にて紹介させていただきます。

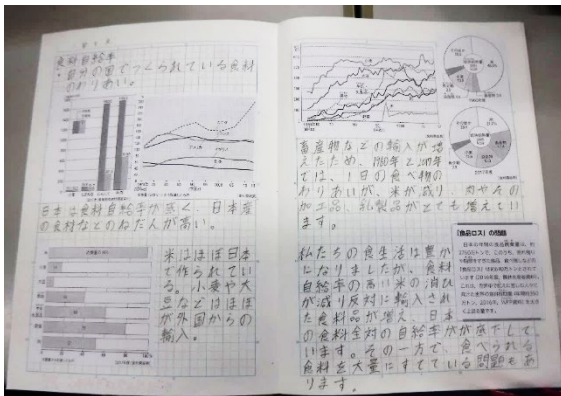
# 子どもが自分で考え計画する力

子ども自身が自分自身の学習を見直し、改善していく力。このような力をつけていくためには、学校での授業とともに家庭での学習習慣の定着が欠かせません。そこで、今年度も多賀中学校区区の取組として、11月15日から19日まで（多賀中定期テスト前期間）を『家庭学習がんばろうウィーク』として宿題や自主勉強を計画的に行う強化週間にする予定です。ご家庭でもお声かけなどご協力お願いいたします。（後日お便り配布）

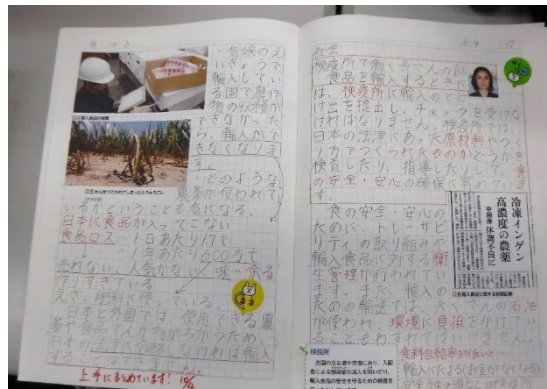
## ☆自主勉強ノートの紹介

計算や漢字の練習だけでなく、本や参考書などの図書資料や新聞などで調べたことをもとに自主学習し知識を広げることも・・・。

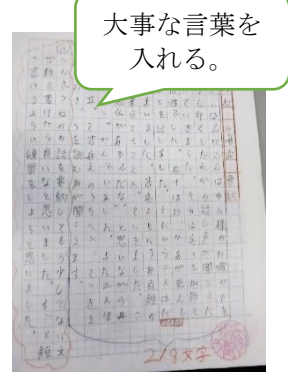
自主学習の内容も、どんどんグレードアップしてきました。要約する力・自分の意見や読み取ったことを文に表す力をつけるためには「まず、読んでみる。まず、書いてみる。」という積み重ねが大切です。



表やグラフからわかることを、数値を使いながら、文章でまとめています。

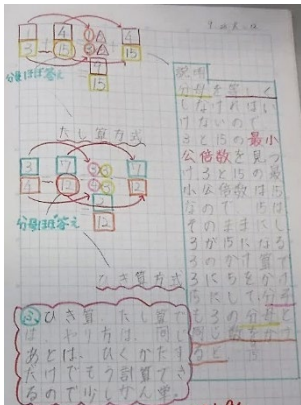


学習したことと関連した新聞記事を読み、解説やわかったことを自分の言葉でまとめています。

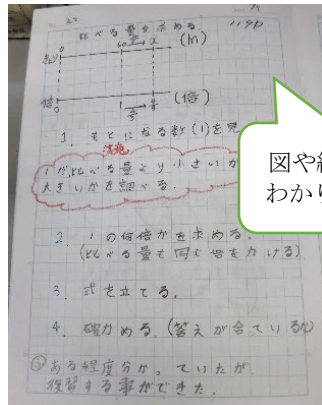


大事な言葉を入れる。

教科書の文章を100字や200字に要約する練習をしています。キーワードを落とさずにまとめることで、読み取る力もつきます。

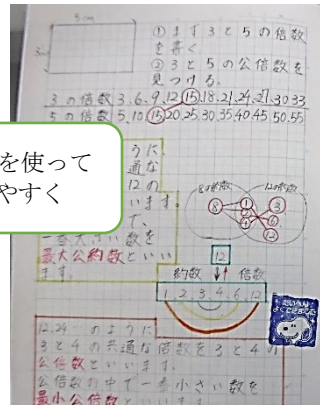


算数科の解答も、式と答えだけでなく、数や公式を使い説明を文章で書いています。

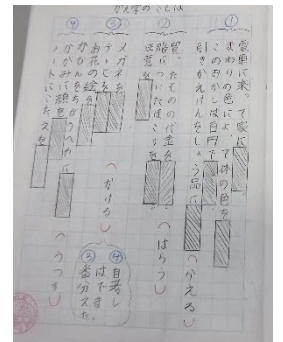


図や絵を使ってわかりやすく

学習した単元のポイントをわかりやすくまとめています。



テスト勉強としてポイントをまとめて復習をしています。



辞書などで調べた同音異義語をまとめています。

低学年はまず、家庭学習に丁寧に取り組み、学習習慣を確立することが大切です。中・高学年は、自分自身の学習を振り返り、苦手なものや授業で習ったことで練習の必要なもの、復習・予習など計画的に学習を積み重ねることが大切です。自分自身で学習する力は簡単に身につくものではありません。『継続は力なり』です。